

令和 7 年度 連携研究スキームによる研究（政策研連携研究課題）
研究成果等概要報告書

研究テーマ名	アフリカにおける食料安全保障に関する研究—グローバル・サウスとの関わりにも着目して—
政策研連携研究課題名	西アフリカ（西部）、南アフリカにおける食料安全保障に関する研究
研究実施期間（西暦）	2024 年度 ～ 2026 年度（3 年間）
PO	農林水産政策研究所 上席主任研究官 草野 拓司

1 研究の進捗状況等

① 西アフリカ（セネガル、モーリタニア、ガーナ）、南アフリカ（南アフリカ共和国）などにおける食料安全保障の実態解明に関する研究

西アフリカのセネガル、モーリタニア、ガーナ、南アフリカの南アフリカ共和国を対象とし、各国における食料安全保障の動向等に関する調査・分析を実施した。

〈学会報告等〉

- Yuki Maruyama, Kenichi Kashiwagi, Mohamed Kefi (2025) 「Consumer Preferences for Tunisian Olive Oil in Japan-Valuation of Functional Attributes-」 『Desert Technology XVI (DT XVI) International Conference on Arid Land 2025』 2025 年 11 月 12 日, 東京. (口頭報告)
- Kenichi Kashiwagi, Mohamed Taha Lahrech, Yuki Maruyama (2025) 「Does the Eco-labelling Affect Production and Marketing of Argan Oil?: Evidence from Women Cooperatives in Southwest Morocco」 『Desert Technology XVI (DT XVI) International Conference on Arid Land 2025』 2025 年 11 月 12 日, 東京. (口頭報告)
- Taha Lahrech, Yuki Maruyama, Kenichi Kashiwagi (2025) 「Analysis of Japanese Consumers' Preferences and Willingness to Pay for Argan Oil-Based Cosmetic Products」 『Desert Technology XVI (DT XVI) International Conference on Arid Land 2025』 2025 年 11 月 12 日, 東京. (口頭報告)
- Erina Iwasaki, Kenichi Kashiwagi, Yuki Maruyama (2025) 「Understanding the Desert Development from Household Economy in the Western Desert, Egypt」 『Desert Technology XVI (DT XVI) International Conference on Arid Land 2025』 2025 年 11 月 12 日, 東京. (口頭報告)
- 丸山優樹, Mandiaye Diagne, Cherif Ahmed (2025) 「アフリカ輸出向け「超低コスト米」に関する潜在市場評価 —セネガル・モーリタニアでのオークション実験を事例に—」 『日本沙漠学会第 36 回学術大会』 2025 年 6 月 7 日, 弘前大学. (口頭報告)
- 農林水産政策研究所 (2025) 「Research on Food Security Resilient to Global Market Conditions - Efforts through Research with Collaboration Scheme-」 『TICAD9』 2025 年 8 月 20 日から 22 日, パシフィコ横浜.
- 小倉達也 (2025) 「農業集約化と農業多様性がフードセキュリティに及ぼす影響—ガーナ北部地域農村における事例研究—」 『フードシステム学会大会』 2025 年 6 月 22 日, 東京海洋大学.

〈論文・書籍等〉

- ・丸山優樹（2025）「西アフリカ地域におけるコメの食料安全保障に向けた各種政策について（仮）」令和7年度カントリーレポート．（執筆中）
- ・柏木健一・丸山優樹（2026）「第30章 グローバル化のなかの食料安全保障と農業開発－北西アフリカ」『フランス語圏を知るための62章』明石書店．（3月刊行に向けて印刷中）
- ・小倉達也（2026）「ガーナ－コメ経済の動向と農業政策－（仮）」令和7年度カントリーレポート．（執筆中）

② グローバル・サウス諸国（タイ、ベトナム、インド、パキスタン、ブラジル、アルゼンチンなど）による対アフリカ戦略に関する分析

グローバル・サウスの一角であるタイ、ベトナム、インド、パキスタン、ブラジル、アルゼンチンを対象とし、各国におけるアフリカへの農産物構造の動向等に関する調査・分析を実施した。

〈論文・書籍等〉

- ・高阪快児（2026）「アルゼンチン－ハビエル・ミレイ政権の急進的な施策が農業に与える影響－（仮）」令和7年度カントリーレポート．（執筆中）
- ・草野拓司（2026）「インド－植物油の需給動向に関する分析－（仮）」令和7年度カントリーレポート．（執筆中）

（注1）全研究期間をとおしての研究全体の進捗状況を5行程度で簡潔に記載し、当該年度に研究を実施した研究項目ごとの進捗状況を3～5行程度で簡潔に記載すること。

（注2）学会発表、論文発表等成果の公表状況（リスト）を添付すること。

（注3）農林水産政策研究所のホームページで公表するため、未公表データや知的財産等に関する事項については、十分に注意して作成すること。また、公表できる内容のみを記載すること。